

工事事故(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事故が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事故が再び発生することのないように工事事故概要を皆様にお知らせいたします。

本資料を活用し、受注者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願いいたします。

【工事事故(速報)発生状況】 (H24.6.30現在)

	6月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成24年度(今年度)	3件	11件	0人	4人
平成23年度(昨年度)	9件	74件	1人	19人

注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事故発生件数(速報)を示す。

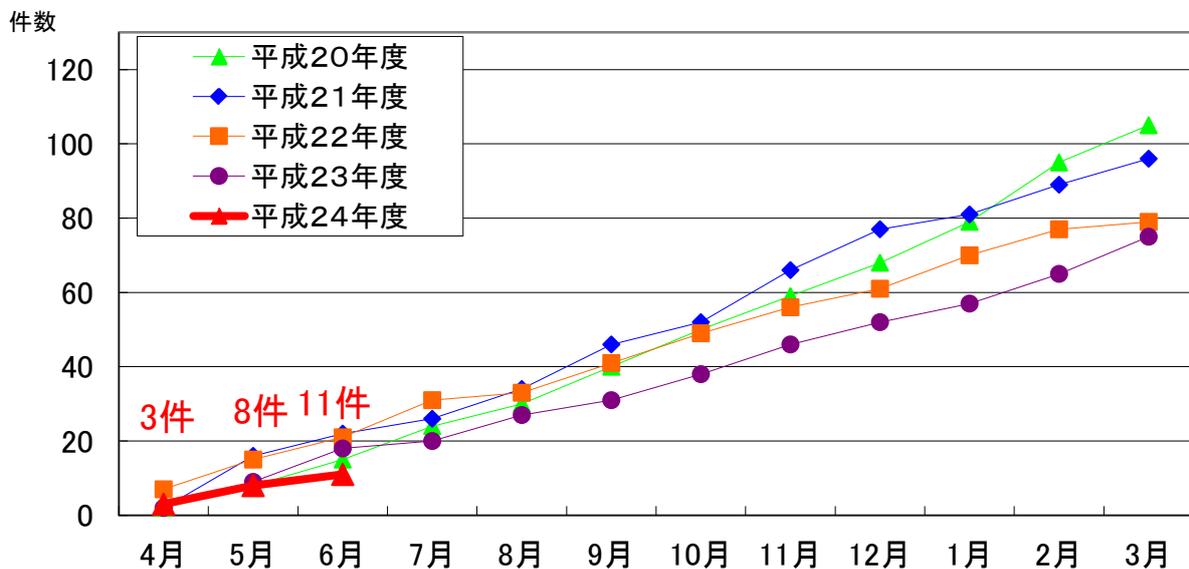
注2) 「6月発生件数」は、6/1～6/30の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～3/31の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～3/31の累計人数を示す。

注5) 平成24年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

●工事事故件数

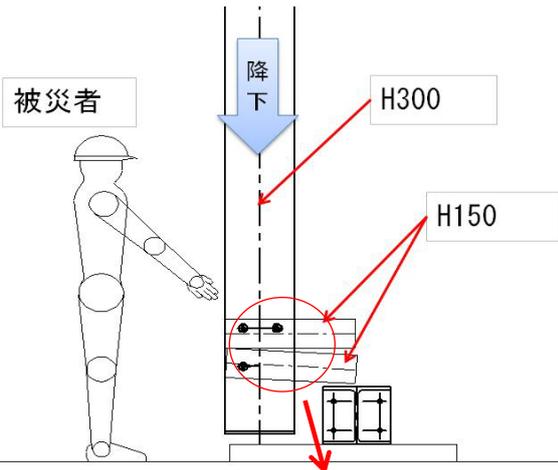


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成20年度 累計	2件	8件	15件	24件	30件	40件	50件	59件	68件	79件	95件	105件
(月毎)	(2件)	(6件)	(7件)	(9件)	(6件)	(10件)	(10件)	(9件)	(9件)	(11件)	(16件)	(10件)
平成21年度 累計	2件	16件	22件	26件	34件	46件	52件	66件	77件	81件	89件	96件
(月毎)	(2件)	(14件)	(6件)	(4件)	(8件)	(12件)	(6件)	(14件)	(11件)	(4件)	(8件)	(7件)
平成22年度 累計	7件	15件	21件	31件	33件	41件	49件	56件	61件	70件	77件	79件
(月毎)	(7件)	(8件)	(6件)	(10件)	(2件)	(8件)	(8件)	(7件)	(5件)	(9件)	(7件)	(2件)
平成23年度 累計	2件	9件	18件	20件	27件	31件	38件	46件	52件	57件	65件	74件
(月毎)	(2件)	(7件)	(9件)	(2件)	(7件)	(4件)	(7件)	(8件)	(6件)	(5件)	(8件)	(9件)
平成24年度 累計	2件	8件	11件									
(月毎)	(2件)	(6件)	(3件)									

※なお、平成21年度工事事故より、国の管理物損傷事故件数を措置の対象としている。

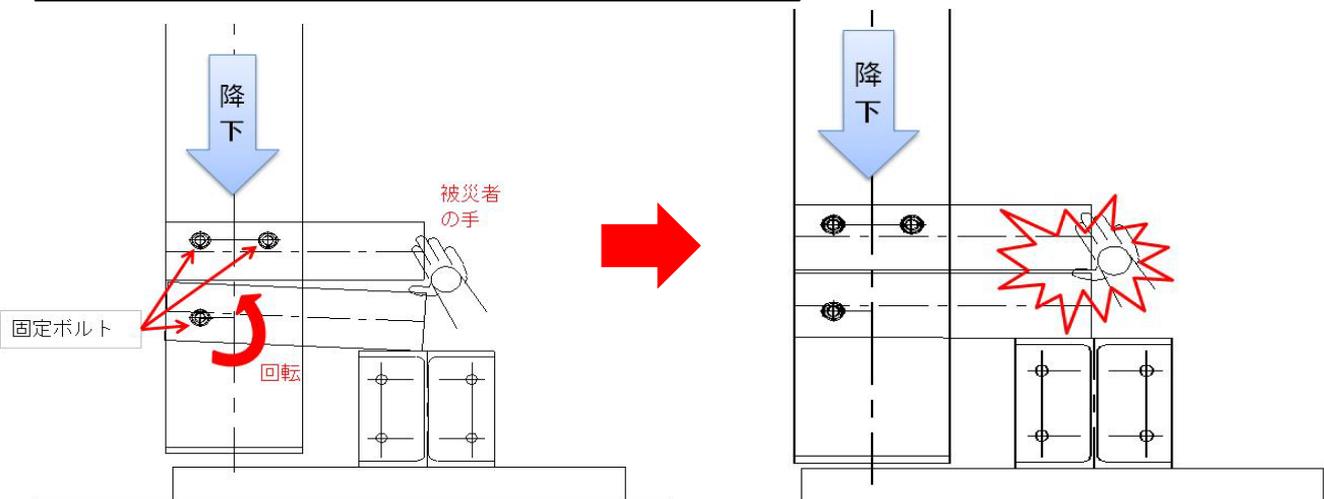
発生日時	平成 24 年 6 月 11 日 (月) 15 時 5 分			天候	曇
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	56	坑夫	右母指指指尖切断	
事故概要	プラント架台の鋼材の撤去中、作業員の右手親指が鋼材に挟まれ負傷したもの。				
工事関係者事故-03運搬中の資機材等の落下や下敷きで負傷					

事故発生状況



- ・濁水処理プラント架台の解体撤去作業を50tラフタークレーンで実施。被災者は仮置き場への鋼材荷下ろしに従事。
- ・H300鋼材に固定されたH150鋼材が回転する状況であったため、降下時に手を挟まれたもの。

固定ボルトを外し、H150を外してから吊す予定であったが、さび等によりボルト1本しか外せなかった。仮置き場で切断予定であった。



【事故発生原因】

- ・作業時の手元確認を怠ったため。
- ・鋼材が動き、手が挟まれやすい状態で移動作業を行ったため。 など

【事故防止のポイント】

- ・日々の危険予知活動等にて安全意識を向上させる。 など

発生日時	平成 24 年 6 月 21 日 (木)			8 時 40 分	天候	曇
工事情報	河川系事務所 維持修繕工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	ケーブル切断		
事故概要	台風の出水で待避したバックホウを現場に戻す為に、堤防天端を自走していたところ、堤防天端上を横断していた、監視カメラの電源ケーブルを切断したもの。 公衆損害事故-架空線損傷					

事故発生状況



監視カメラの
電源ケーブル

・台風4号の出水で待避したバックホウ(0.7m3)を現場に戻す為に、堤防天端を自走していたところ、堤防天端上を横断していた、浄水場の取水口監視カメラの電源ケーブルを切断したもの。

・本経路は、バックホウの搬入、搬出時しか通る予定がなかったため、のぼり旗、三角旗、注意喚起看板は設置せず、誘導員の誘導で対応予定であった。

・バックホウのオペが、既に入入りした経路であり、誘導なしでも入場できると判断し、誘導員を待たずに移動し、切断したもの。

【事故発生原因】

・架空線に対する注意喚起が不十分であったため。 など

【事故防止のポイント】

・架空線近接箇所の移動・作業時の安全管理を周知・徹底する。 など

発生日時	平成 24 年 6 月 28 日 (木)			14 時 30 分	天候	曇
工事情報	河川系事務所 役務					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	官用車及びガードレール損傷		
事故概要	河川巡視中、ガードレールに接触し、ガードレール及び官用車左後部を損傷させたもの。					
	公衆損害事故-その他公衆損害					

事故発生状況



車両損傷状況

・河川巡視中、橋を左岸から右岸に渡り右岸堤に回り込む際に、ガードレールに接触し、車左後部を損傷させたもの。

・ガードレールの施設管理者に報告したところ、該当箇所については、今回の事故によって損傷したものではないと考えられるため、補修は要求しないとのこと。

【事故発生原因】

・運転手の左側側方確認不足によるもの。
など

【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底。
・周辺構造物への注意、確認を行う。
など